

木柴に雪の巻下

○冬 九十五首

難波江に河とさひてふにちよけ
沙代よりやまゝ初る心

古註よあしとハ足草のすやとの
そひて歌の解なりとて此の

はるハ鷹詞よまゝとてもあはれ
かゝるは合するとてとあはる

とも云是ハつゝのさるれと見
らるゝ合するなりと君侯ハ云

今の俗中も切やどちかく始
るの事をとて云ふより山に

同一初句を言ふと是とて
ひてさむるのさるると上ノ句の

此沙代よりとてはるよひせ
るなり初中もさるなり難波
高津宮小



上野介藤原重名釋

